

文化スポーツ観光部

実施計画事業

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	7	説明資料	19	項目番号	1(1)
事務事業名	都市魅力PR事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画
	中柱	音楽・ダンスや芸術文化などエンターテインメントが持つ力を生かしたにぎわいづくり					
	小柱	①アートやサブカルチャーを活用した新たなにぎわいづくり					
目標	横須賀らしいエンターテインメントによる賑わいづくりや話題性のある取り組みを、横須賀の都市の魅力として情報発信を行うことにより、市内外からの集客を生み、市内経済の活性化を図る。						
目標達成に必要なこと	・音楽、スポーツ、エンターテインメント、地域資源を活用した取り組みなどを、都市魅力として、情報発信を行う。 ・伝えたい情報と伝えやすい媒体を検討し、時世にあった発信を行う。						
具体的な事業内容	本市の特性やポテンシャルを生かした新たな都市魅力を創出、PRするための取り組みを行う。 エンターテインメントをテーマに、アートやダンス、音楽などに関する発信力の高い取り組みを実施することで、街の賑わいを創出し、新しい都市魅力に繋げる。						

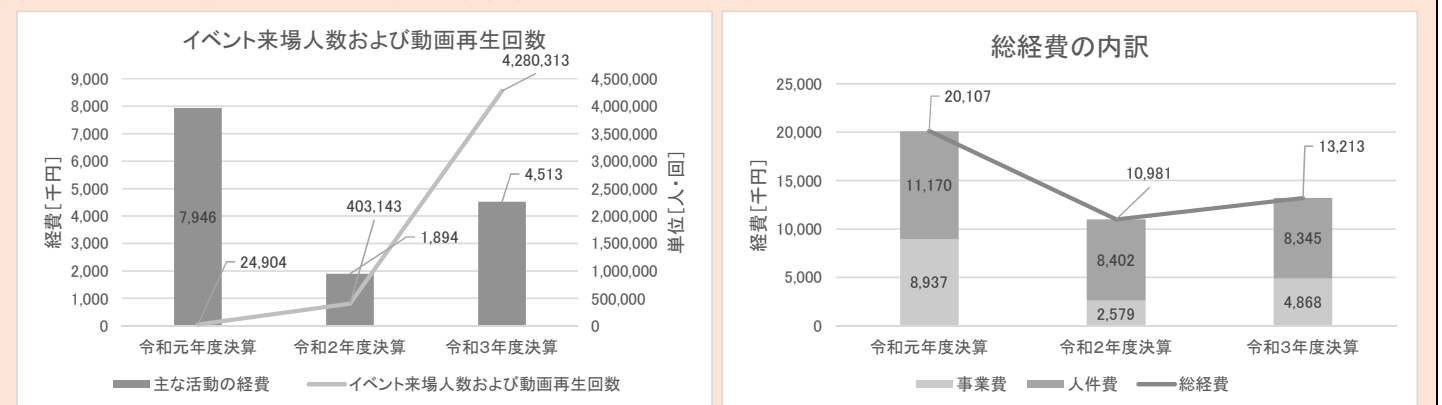
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 本市の特性やポテンシャルを生かした都市魅力の発信	イベント来場人数および動画再生回数	24,904	403,143	4,280,313	人・回
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
②		0	0	0	
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	8,937	2,579	4,868	7,205	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	7,946	1,894	4,513	6,850	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	991	685	355	355	千円
b 人件費	11,170	8,402	8,345	8,318	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	2,603	0	0	0	千円
総経費(a + b)	20,107	10,981	13,213	15,523	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による、リアルイベント中止に伴い、新たな試みである動画によるオンライン音楽ライブ配信にかかる情報発信を実施した。	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	引き続き、オンライン音楽ライブ配信を実施するとともに、令和2年度には開催を見送った猿島アートプロジェクトの実施にかかるPR施策を行った。
年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度:エンターテインメント推進事業として新たに取り組んだ猿島アートプロジェクトに関して「無人島・夜・暗間と静寂・非日常・美術島」などイベントを象徴するキーワードと、それをより伝わりやすくするためのビジュアルデザインに留意して情報発信を実施した。 ・令和2年度:コロナ禍の新たな試みである動画によるオンライン音楽ライブ配信にかかる情報を発信した。You Tuberとのコラボレーションにより、双方の目的に沿った結果を得ることができた。また、経費に関しても交通事業者との連携により、最小限に抑えることができた。その他の事業は軒並み中止となったため、経費が大幅に減少した。 ・令和3年度:引き続き音楽ライブを発信すると共に、前年度は開催を見合わせた猿島アートプロジェクトの情報発信を行った。また、オンライン音楽ライブ配信は、より多くの注目される若手You Tuberとのコラボレーションにより、動画での情報発信の強化につながった。 		
今後の事業の方向性	これまでの取り組みを分析し、時世にあった方法を検討して、情報発信を継続し、「本市の都市魅力」の認知の拡大と定着を目指す。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(3)
--------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	明日の文化活動担い手育成事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		
-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	-------	--------------------	--	--

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	子育て・教育環境の再興 整備・充実					分野別計画
	中柱	横須賀の特性を生かした教育機会の提供					
	小柱	②民間企業・研究機関・地域との連携、郷土愛の醸成					
目標	将来の文化活動の担い手となる子どもたちの文化への関心を高めるため、子どもを対象として、文化活動に触れる機会や歴史を知る機会を提供する						
目標達成に必要なこと	学校や親世代への周知と啓発が必要						
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け歴史小冊子の発行 伝統芸能ワークショップの開催 						

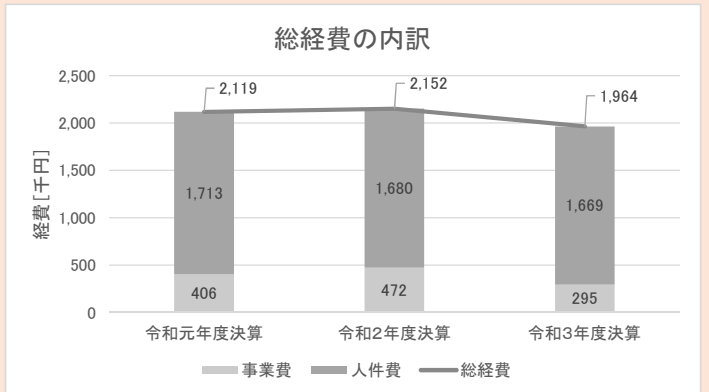
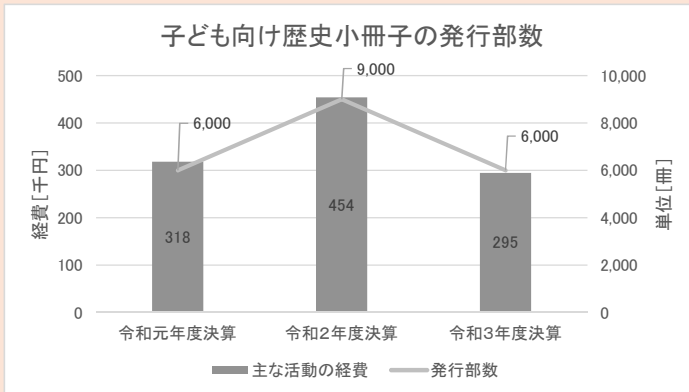
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 子ども向け歴史小冊子の発行	発行部数	6,000	9,000	6,000	冊
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 伝統芸能ワークショップの開催	入場者数	32	0	41	人
③ -	-	-	-	-	-

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	406	472	295	417	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	318	454	295	342	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	88	18	0	75	千円
b 人件費	1,713	1,680	1,669	1,664	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	2,119	2,152	1,964	2,081	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	子ども向け歴史小冊子の写真をイラストに変更したこともあり、追加で発行した。伝統芸能ワークショップは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止になった。	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	子ども向け歴史小冊子の配布部数が落ち着いたので、通常部数とした。
----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	子ども向け歴史小冊子は、イラストに変更したため、大好評で9000部発行した年度でもあり、子ども以外にも周知が可能となった。また、ネット印刷を利用することで費用を節減した。
-------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	将来の文化の担い手の育成のため、引き続き取り組みを続けていきたい。
-----------	-----------------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(4)
--------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	近代歴史遺産活用事業							所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課
-------	------------	--	--	--	--	--	--	-------	--------------------

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画
	中柱	歴史遺産の活用促進					
	小柱	②日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進					
目標	ペリー来航時の浦賀奉行所の活躍をはじめ、日本の近代化を支えた横須賀製鉄所(造船所)など、幕末以降の近代横須賀の歴史を市民をはじめ、多くの方々に知ってもらうことにより、郷土への誇りを持ち、次世代へその歴史を伝えていくことを目指す。						
目標達成に必要なこと	市内の近代歴史遺産の重要性について、市民に認識してもらうだけでなく、市外を含めた多くの人々に周知するため、市だけでなく民間事業者からもツアー造成をはじめとする周知PRが欠かせない。						
具体的な事業内容	子ども向けの小冊子を5000部印刷して6年生に配布し、次世代に郷土への誇りを持ってもらうよう促した。近代歴史活用事業推進協議会については、新型コロナウイルスの影響から1回の書面会議とせざるを得なかった。主に近代の歴史遺産を紹介して周遊に繋げるためのスタート拠点となるティボディエ邸に関することやルートミュージアムの今後における質疑応答が主な議題であった。						

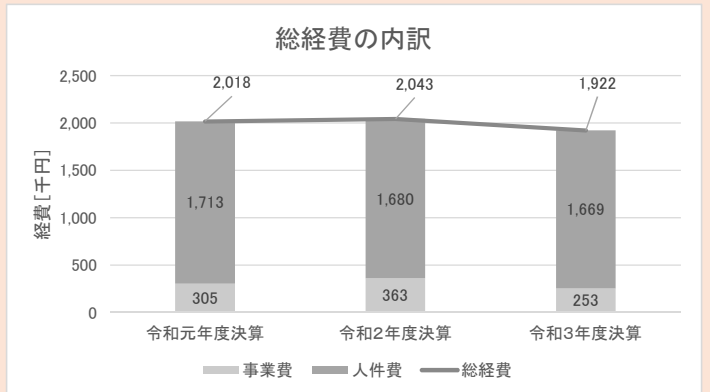
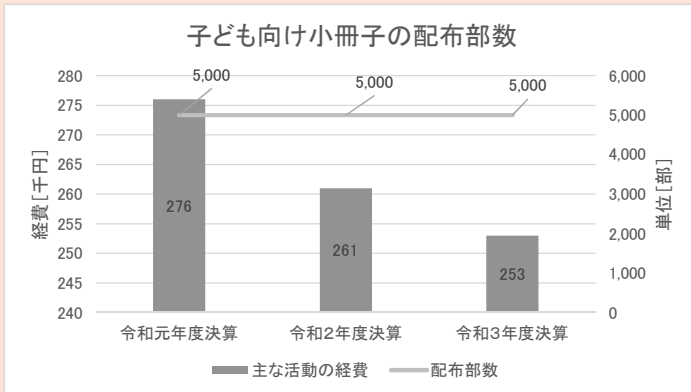
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 子ども向け小冊子の配布	配布部数	5,000	5,000	5,000	部
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催	開催数	4	2	1	回
③ -	-	-	-	-	-

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	305	363	253	302	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	276	261	253	263	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	29	102	0	39	千円
b 人件費	1,713	1,680	1,669	1,664	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	2,018	2,043	1,922	1,966	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	内容の変更はなかったが、ネット印刷を活用して費用を節減した。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	内容の変更はなかったが、ネット印刷を活用して費用を節減した。
--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------

年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	子ども向け小冊子は、児童生徒の減少傾向などによるため。
-----------------------------------------	-----------------------------

今後の事業の方向性	子ども向け小冊子は、児童生徒の人数が少なくなっていることから、在庫部数など状況を見て減冊していく。また、協議会開催については、ティボディエ邸開館をはじめ、ルートミュージアム構想が本格稼働したことにより、年1回程度の開催にして市の文化及び観光施策における助言や意見交換などの場としていく。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(5)
--------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	ルートミュージアム推進事業							所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課			
-------	---------------	--	--	--	--	--	--	-------	--------------------	--	--	--

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画	
	中柱	歴史遺産の活用促進						
	小柱	②日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進						
目標	ルートミュージアムの中核拠点である「ティボディエ邸」の管理・運営を行うとともに、ティボディエ邸及びルートミュージアムの認知度向上と集客促進に向けた取り組みを行い、多くの観光客に市内周遊を促し、長時間の滞在と消費増を目指し、地域経済の活性化を図る。							
目標達成に必要なこと	ルートミュージアム事業計画に基づき、ティボディエ邸を開館、中核拠点のティボディエ邸の展示充実を図り、集客そして周遊を促すようにしていく。							
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ティボディエ邸の管理運営 ・ティボディエ邸の認知度向上と来訪を促すためのパンフレット制作 ・周遊を促すVRコンテンツ制作と周知PR 							

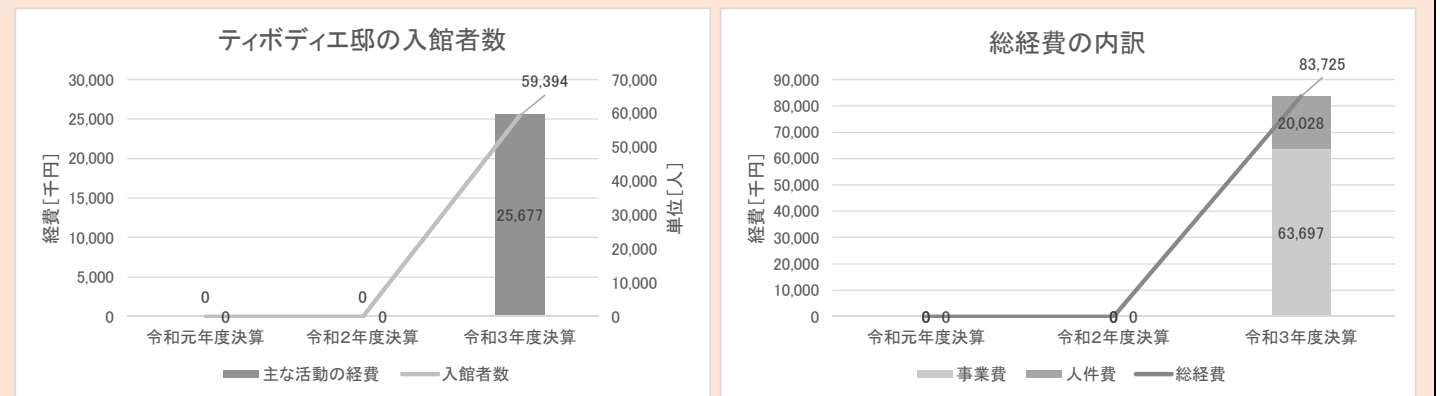
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① ティボディエ邸の入館者数	入館者数	0	0	59,394	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② ティボディエ邸のパンフレット制作	印刷部数	0	10,000	30,000	部
③ VRアプリのダウンロード数	ダウンロード数	8,211	5,988	5,231	回

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	0	0	63,697	68,045	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	0	0	25,677	29,158	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	38,020	38,887	千円
b 人件費	0	0	20,028	16,636	千円
正規職員	0.0	0.0	2.4	2.0	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	0	0	83,725	84,681	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	ティボディエ邸の建設工事ほかの契約を締結し、建設中であったため、開館していない。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	令和3年になって建物の完了検査、その後の外構工事もあり、更に新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響から、令和3年度に入った5月29日に開館した。
--------------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------

年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響から、令和3年5月29日に開館したものの、緊急事態宣言の発令に伴い、夏場に閉館時期もあり、入館者数が伸び悩んだ。
-----------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	新型コロナウイルスをはじめ、想定外な事態から令和3年5月に開館が延期されたが、令和4年度秋にはヴェルニー公園内の隣接地にレストランもオープンすることから、多くの市内外の観光客に来院してもらい、市内に点在する近代歴史遺産や文化の見どころ、自然豊かなスポットなどを知って、市内を周遊して楽しんでもらい、宿泊を含めて長時間の滞在と消費増を目指して、さまざまな周知PRを行って集客、誘客を図っていく。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	24	項目番号	2(6)
--------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	ルートミュージアム整備事業(継続事業)							所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課			
-------	---------------------	--	--	--	--	--	--	-------	--------------------	--	--	--

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和3年度	(サンセット)	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務								
根拠法令									
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画		
	中柱	歴史遺産の活用促進							
	小柱	②日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進							
目標	市内に点在する近代化遺産などを紹介するなど、観光ガイドランスセンターとしての役割を持たせるだけでなく、ティボディエ邸復元など集客拠点でもあるルートミュージアムの中核拠点でありスタート拠点を整備すること。								
目標達成に必要なこと	ルートミュージアム事業計画に基づき、国の補助を活用して外観復元を忠実に進めるとともに、公共施設であることから安全安心やバリアフリーにも配慮した建物として整備する。また、外構工事についてもフランス式公園に相応しく整備していく。(主にハード整備)								
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸の建築工事実施 ・同施設の電気工事実施 ・同施設の機械設備工事実施 ・外構工事の実施 								

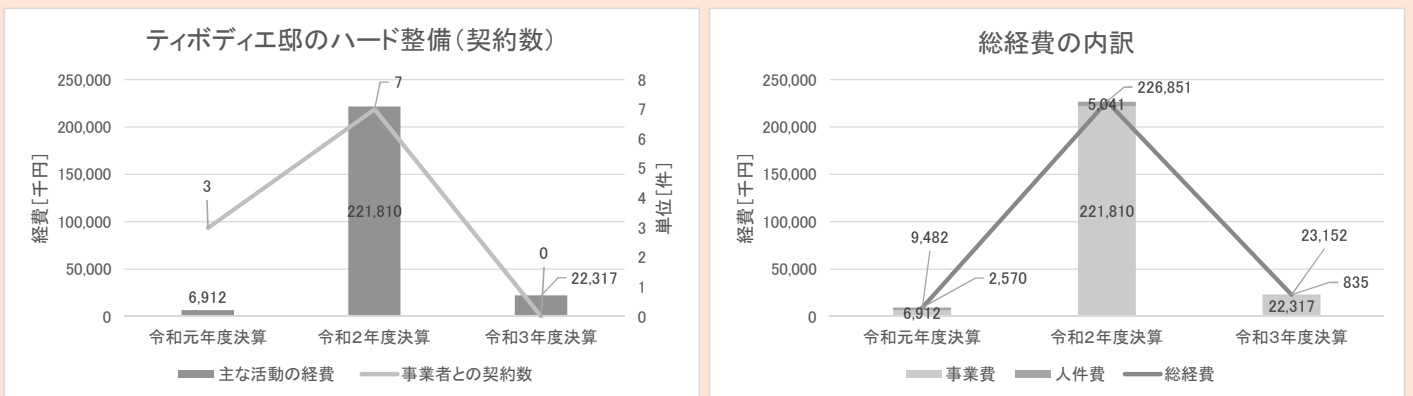
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにに行った 重要項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸のハード整備	事業者との契約数	3	7	0	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② -	-	-	-	-	-
③ -	-	-	-	-	-

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	6,912	221,810	22,317	23,444	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	6,912	221,810	22,317	23,444	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	2,570	5,041	835	4,159	千円
正規職員	0.3	0.6	0.1	0.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	9,482	226,851	23,152	27,603	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	工事進捗中に想定外な事象が発生したこと、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言などにより、期間延長や追加の契約締結を行い、さらに外構工事の契約締結も行き、同様の事象から追加契約を締結した。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	令和3年になって建物の完了検査、その後の外構工事もあり、更に新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響から、令和3年度に入った5月29日に開館した。
--------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------

年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	平成30年度から令和2年度までの3年間で整備することを目的に、国が全国30都市募集の地方再生コンパクトシティ補助金で本市が採択され、令和2年度中にティボディエ邸を竣工・開館させるべく、事業を進めてきた結果、契約数及びそれに伴う経費も増えていったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、令和2年度中に外構工事まで完了せず、新規感染者数が落ち着いた頃の令和3年度に入った5月29日に開館した。
今後の事業の方向性	新型コロナウイルスなど想定外な事象から令和3年度にまたがってしまったが、ティボディエ邸が開館し、ワクチン接種が進んで今後多くの市内外の観光客に来館してもらい、市内に点在する近代歴史遺産や文化の見どころ、自然豊かなスポットなどを知って、市内を周遊して楽しんでほしい、宿泊を含めて長時間の滞在と消費増を目指して、さまざまな周知PRを行って集客、誘客を図っていく。

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	24	項目番号	2(7)
事務事業名	浦賀奉行所開設300周年記念事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和3年度	(サンセット)	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務								
根拠法令									
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画		
	中柱	歴史遺産の活用促進							
	小柱	①浦賀奉行所開設300周年を契機とした郷土愛の醸成とにぎわいづくり							
目標	日本を開国へと導いた浦賀奉行所の大きな役割を市内外に周知し、郷土愛の醸成を図るとともに、2020年に開設300周年を迎えることを記念したイベントを実施することで浦賀とその周辺地域に活力と賑わいの創出を図る。(新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期)								
目標達成に必要なこと	記念イベントを開催し、多くの方に浦賀の歴史や魅力を認知してもらうことで、民間投資を促進し、今後の浦賀の発展につなげていく。								
具体的な事業内容	浦賀奉行所開設300周年記念したイベントの開催及び発信。 ・浦賀ゆかりの帆船誘致 ・記念コンサートの実施 ・記念式典の実施 ・スポーツ界の黒船「BMX」パフォーマンス など								

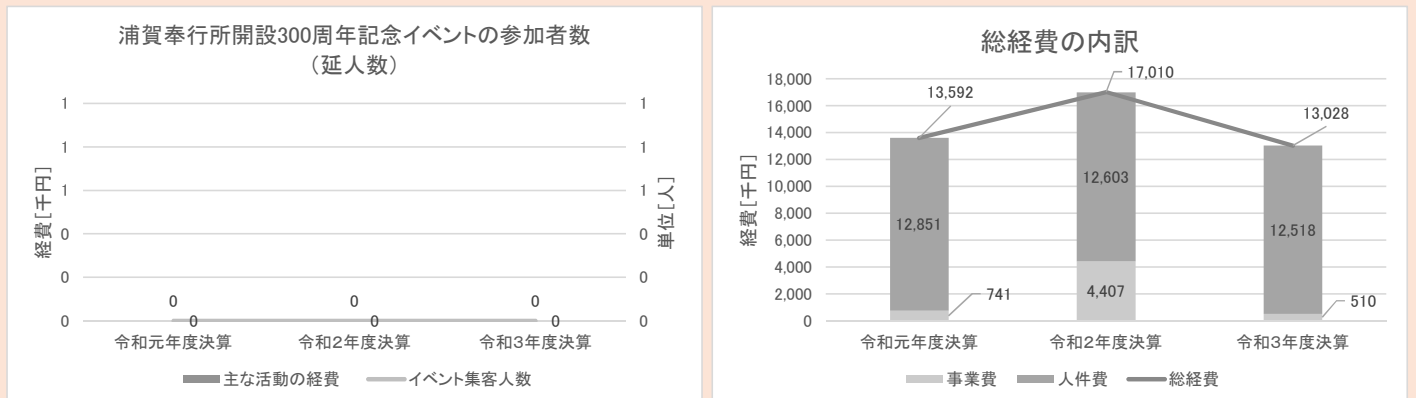
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 浦賀奉行所開設300周年記念イベントの開催	イベント集客人数	0	0	0	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 伝統的な音楽に合わせた歴史ある浦賀の魅力発信動画の制作	動画視聴回数	0	0	75,974	回
③		0	0		

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	741	4,407	510	5,988	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	0	0	0	5,988	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	741	4,407	510	0	千円
b 人件費	12,851	12,603	12,518	0	千円
正規職員	1.5	1.5	1.5	0.0	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	13,592	17,010	13,028	5,988	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	令和2年度に浦賀奉行所開設300周年を迎え、記念イベントを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に延期となった。令和元年度はプレ事業を行う予定であったが、台風の影響により中止となった。	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	令和2年度に浦賀奉行所開設300周年を迎え、記念イベントを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に1年延期したが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症が収束せず、中止となった。
年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	浦賀奉行所開設300周年記念イベントは令和元年度のプレイベントは台風で、記念イベントは新型コロナウイルス感染症により中止となった。令和2年度は記念イベントの一部であった「8mmフィルムを活用した地域映画の制作」を実施できたため、経費が高くなっているが、令和3年度も記念イベントはできなかったが、歴史ある浦賀の魅力を伝統的な音楽に合わせた動画を制作し、発信することで、認知度向上を図った。		
今後の事業の方向性	記念イベントが中止となり、本事業はサンセットとなるが、浦賀レンガドックの利活用については引き続き推進していく。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	25	項目番号	2(8)
事務事業名	街なかミュージック支援事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興				分野別計画	
	中柱	音楽・ダンスや芸術文化などエンターテインメントが持つ力を生かしたにぎわいづくり					
	小柱	②音楽やダンスにあふれる楽しいまちづくり					
目標	市、事業者及びアーティストが協力し、街なかをステージとした音楽ライブの場を創出・提供していくとともに、アーティストやその活動、イベント情報を発信し、常に音楽のあふれた、ワクワクする街づくりを進めていく。						
目標達成に必要なこと	街なかで音楽に触れ合う機会の充実として、音楽ライブの実施やいつでも音楽を奏でる場所を提供するとともに様々な媒体で情報発信する。						
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽ライブの実施 ・アーティストの出演の場の創出 ・ヨコスカ街なかピアノの設置 ・WEBサイトやSNS等での市内外への情報発信 						

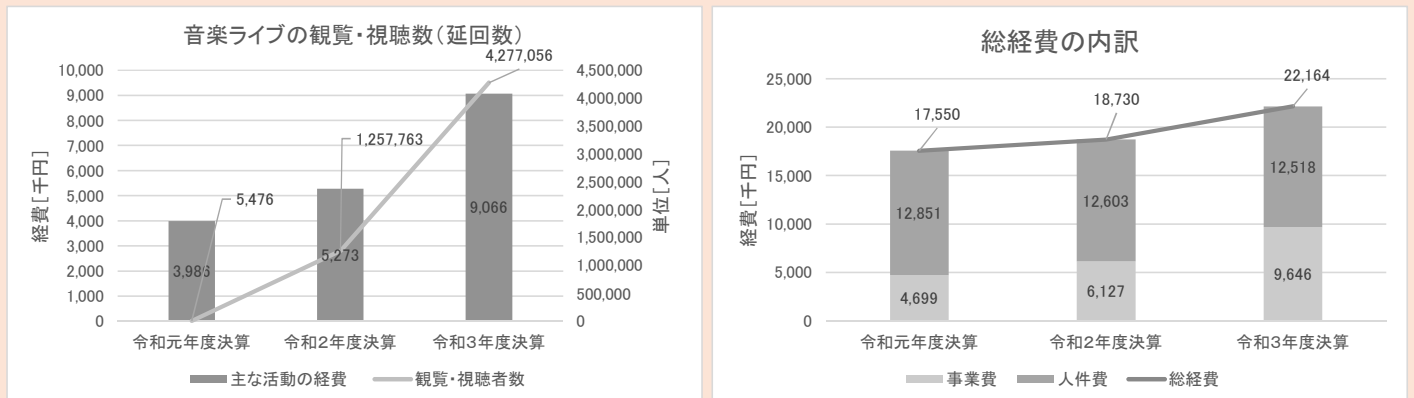
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 音楽ライブの開催	観覧・視聴者数	5,476	1,257,763	4,277,056	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	4,699	6,127	9,646	6,316	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	3,986	5,273	9,066	5,877	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	713	854	580	439	千円
b 人件費	12,851	12,603	12,518	12,477	千円
正規職員	1.5	1.5	1.5	1.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	17,550	18,730	22,164	18,793	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	街なかでの音楽ライブを拡充するとともに、WEBサイトの運営と街なかピアノの設置を行った。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、街なかでのライブ開催に加え、新しい生活様式に対応するための国庫補助金を活用し、新たに無料オンラインライブや市内各所での演奏の模様をSNS(YouTube)により広く配信した。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式に対応した事業展開を強化した結果、400万回を超える動画視聴回数となり、多くの方に街なかミュージックライブを通して、横須賀の魅力をPRできた。国庫補助金を活用し、SNSを活用したライブ映像の配信などを強化したため、令和2年度と比較して増額となった。		
今後の事業の方向性	常に音楽のあふれた街の実現に向けて、街なかでのライブや音楽活動の場の創出を進めていくとともに、令和2年度から実施したSNSでの配信を強化し、全国の音楽ファンに横須賀ならではの自然や歴史ある街の魅力を音楽と併せて発信していく。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	25	項目番号	2(9)
事務事業名	エンターテイメント推進事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興				分野別計画	
	中柱	音楽・ダンスや芸術文化などエンターテイメントが持つ力を生かしたにぎわいづくり					
	小柱	①アートやサブカルチャーを活用した新たなにぎわいづくり					
目標	横須賀らしいエンターテイメントによる賑わいづくりにより、市民が楽しめる環境の充実を図ると同時に、話題性のある取り組みを進め、市内外からの集客を生み、市内経済の活性化を図る。						
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀ならではの地域資源の活用 ・民間企業との連携による、より話題性の高い取り組みの実施 						
具体的な事業内容	エンターテイメントをテーマに、アートやダンスに関する発信力の高い取り組みを実施することで、街の賑わいを創出し、新しい都市魅力に繋げる。						

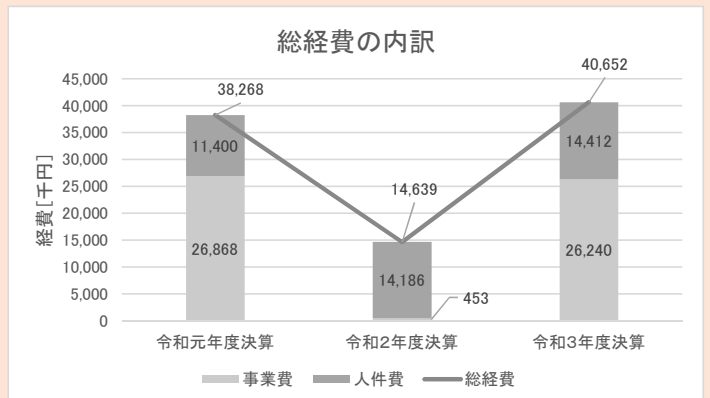
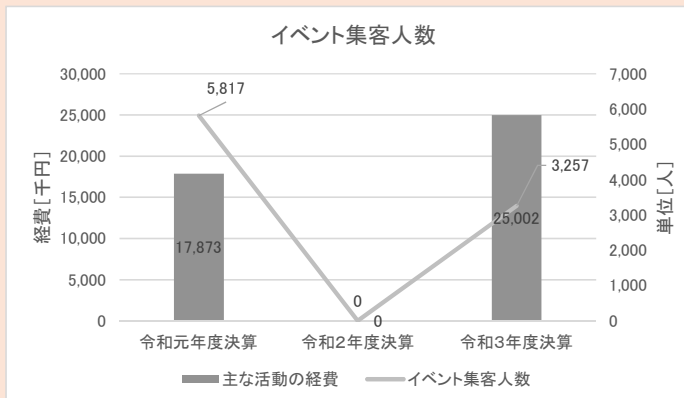
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
①「猿島アートプロジェクト」の実施	イベント集客人数	5,817	0	3,257	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
②「横須賀ダンス・盛り上げプロジェクト」の開催	プロジェクト参加者	165	220	118	人
③「横須賀音楽・夢プロジェクト」の推進	イベント来場者	307	0	0	人

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	26,868	453	26,240	28,646	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	17,873	0	25,002	26,575	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	8,995	453	1,238	2,071	千円
b 人件費	11,400	14,186	14,412	14,399	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	2,833	5,784	6,067	6,081	千円
総経費(a + b)	38,268	14,639	40,652	43,045	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	令和1年度に初開催した猿島アートプロジェクトは、令和2年度の継続開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせた。	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせた。令和3年度は、会期を11-12月から1-3月に変更して開催した。開催に際しては、来場者数の制限および開催時間の短縮などの対策を講じた。
年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度:エンターテイメントによる新たな魅力作りの強化を図るため、猿島アートプロジェクトを初開催した。夜間開催の無人島での現代アートのイベントであることから、初開催でありながら、多くの来場者、多くのメディアへの露出を行うことができた。 ・令和2年度:新型コロナウイルス感染症の影響により、猿島アートプロジェクトは開催を見合わせ、ダンスに関する取り組みは縮小して実施した。 ・令和3年度:猿島アートプロジェクトは、会期を11-12月から1-3月に変更して開催した。前年度の中止と会期を延期しての開催であったことに加え、会期が蔓延防止措置期間となってしまうことから来場者数は減となった。一方で、夜間に離島で開催する芸術祭であることからメディアの反響は大きく、令和元年度55件だった掲載件数は、令和3年度は95件と大幅に増加し、次年度に繋がる情報発信を進めることができた。 		
今後の事業の方向性	令和3年度までの取り組みを基本として、毎年、新しい要素を取り入れた内容で、継続して開催することで、「本市の魅力=エンターテイメントに関する取り組み」の認知の拡大と定着を目指す。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	27	項目番号	3(4)
事務事業名	横須賀アートフェスティバル事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和3年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画	
	中柱	音楽・ダンスや芸術文化などエンターテインメントが持つ力を生かしたにぎわいづくり						
	小柱	①アートやサブカルチャーを活用した新たなにぎわいづくり						
目標	アートフェスティバルを開催し、市民が身近に芸術に触れられ、楽しめる環境の充実を図るとともに、市外からの集客を図る。							
目標達成に必要なこと	市民文化団体との連携及び発表の場の創出							
具体的な事業内容	産業遺産である浦賀レンガドックの壁面を活用したプロジェクションマッピングの実施 (新型コロナウイルス感染症で1年延期となった浦賀奉行所開設300周年に合わせて実施)							

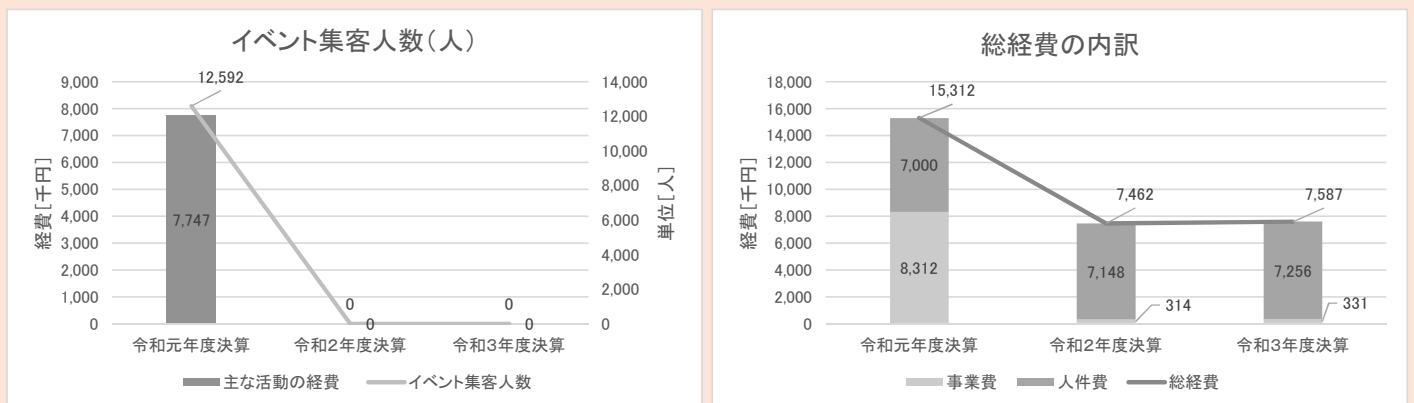
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① アートフェスティバルの開催	イベント集客人数	12,592	0	0	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② アートフェスティバルの発信	メディア掲載数	6	0	0	件
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	8,312	314	331	526	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	7,747	0	0	0	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	565	314	331	526	千円
b 人件費	7,000	7,148	7,256	7,253	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	2,716	2,947	3,083	3,094	千円
総経費(a + b)	15,312	7,462	7,587	7,779	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	令和元年度に台風のため中止となった浦賀レンガドックを活用したプロジェクションマッピングを令和2年度に浦賀奉行所開設300周年記念事業と合わせて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症により翌年度に延期となった。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	令和2年度から延期となったプロジェクションマッピングを同様に延期となった浦賀奉行所開設300周年記念事業と合わせて実施する予定であったが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症が収束せず、中止となった。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和元年度は久里浜と衣笠でのアートイベントの実施及びプロジェクションマッピングの制作を行った。令和2年度及び令和3年度に公開できなかったプロジェクションマッピングをリニューアルして公開することを予定していたが、両年ともに新型コロナウイルス感染症のため公開できなかった。		
今後の事業の方向性	横須賀アートフェスティバル事業は廃止となるが、浦賀レンガドックの利活用を推進していく中で、プロジェクションマッピングの公開を行う。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	2	説明資料	35	項目番号	2(1)
事務事業名	商業振興対策事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 商業振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興					分野別計画
	中柱	横須賀経済を支える中小企業等の再興支援					
	小柱	①事業承継をはじめとしたさまざまな課題、新たなチャレンジに対する支援					
目標	地域経済及び地域コミュニティの核となる商店街の組織力強化や振興を図ることで、市内経済の活性化及び市民生活の利便性向上につなげるため、商店街団体を対象にした諸施策を行う。また魅力ある店舗や、意欲的な事業者を支援することで、市内消費の拡大及び商業の活性化を図る。						
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街や関係団体と連携し経済活性化を図る。 ・観光、文化、スポーツなどによる集客を市内消費につなげる。 						
具体的な事業内容	(1) 商店街との連携、支援(横須賀市等が行うイベントとの連携や、商店街実施事業への補助金による支援など) (2) 商工会議所等関係団体との連携 (3) 中小事業者のオンライン化の支援や、店舗出店促進の支援など						

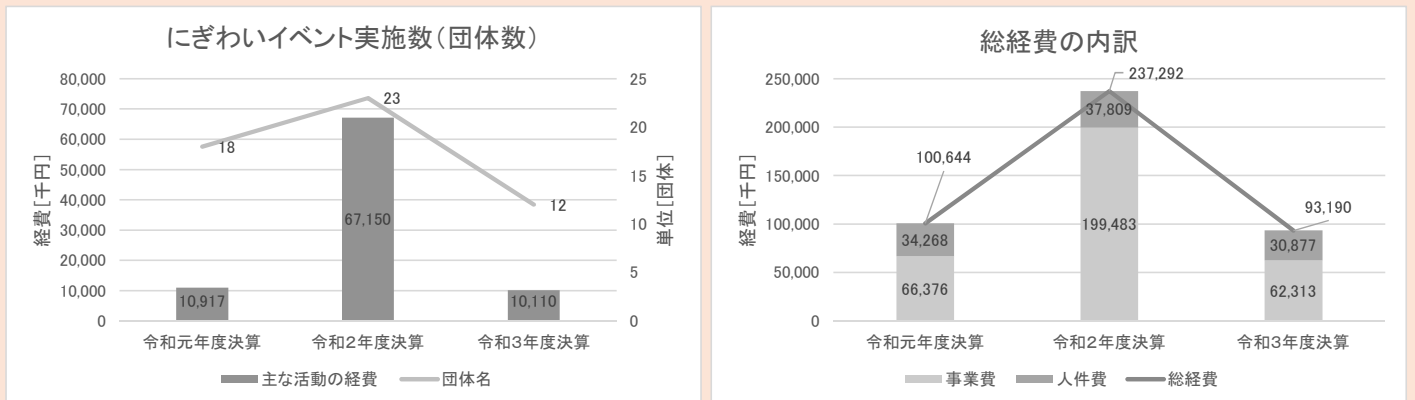
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 商店街にぎわいイベント実施商店街数	団体名	18	23	12	団体
その他の活動実績	活動(指標)名				単位
② 空き店舗出店促進事業補助金	件数	4	4	4	件
③ 商店街共同施設整備・補修・撤去事業補助金	件数	22	15	19	件

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	66,376	199,483	62,313	80,117	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	10,917	67,150	10,110	18,632	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	55,459	132,333	52,203	61,485	千円
b 人件費	34,268	37,809	30,877	33,272	千円
正規職員	4.0	4.5	3.7	4.0	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	100,644	237,292	93,190	113,389	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の経済対策として、商店街の販売促進イベントを重点的に支援することとし、補助率を1/3⇒4/5に拡充し、補助上限額を撤廃した。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	令和2年度は補助率を拡充する特別措置を行ったが、令和3年度は従前の補助制度に戻して支援を行った。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	主に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済対策として補正予算で実施した事業があったため経費が増減した。令和2年度は商店街街路灯等電気料金等補助金や、にぎわいづくりイベント事業補助金の補助率をかさ上げ、飲食業等応援事業補助金等の臨時的事業を実施。令和3年度はワクチン接種推進キャンペーン補助事業を臨時で行った。		
今後の事業の方向性	イベントへの補助金や、電気代補助、施設改修補助は商店街団体の運営にも関わる補助のため存続していく。新たな取り組みについては、商店街や事業主の活動意欲が湧くように、毎年検討を行っていく。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	2	説明資料	37	項目番号	3(1)
--------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	中心市街地活性化事業	所管部課名	文化スポーツ観光部 商業振興課
-------	------------	-------	--------------------

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	横須賀経済を支える中小企業等の再興支援					
	小柱	①事業承継をはじめとしたさまざまな課題、新たなチャレンジに対する支援					
目標	拠点市街地(横須賀中央、追浜、久里浜地区)における、市街地再開発や建替え事業を促進し、商業、業務等の集積を図るとともに、商店街等と協力し、にぎわいの創出を図る。						
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> 再開発建替え等支援制度の継続 拠点市街地のにぎわいの維持 						
具体的な事業内容	再開発・建替え事業の促進のため、支援制度の周知を行う。また、他都市等の市街地活性化施策を研究し、中心市街地の活性化を図る。また、民間の力でされるまちのにぎわいづくり事業に対し、支援を行う。						

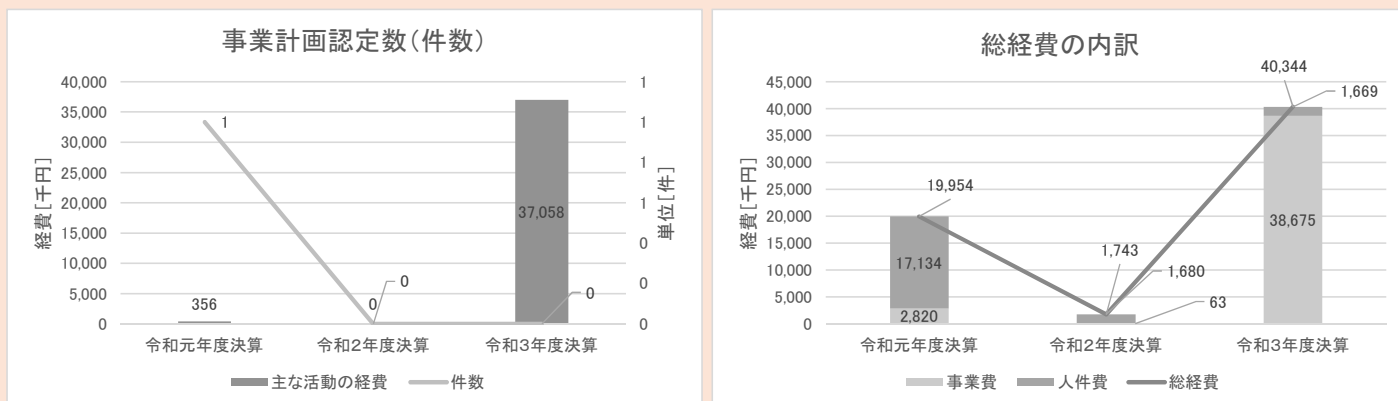
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 特別減税制度の事業計画認定	件数	1	0	0	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 中心市街地活性化事業補助実績	団体数	1	0	1	団体
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	2,820	63	38,675	39,272	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	356	0	37,058	37,172	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	2,464	63	1,617	2,100	千円
b 人件費	17,134	1,680	1,669	15,804	千円
正規職員	2.0	0.2	0.2	1.9	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	19,954	1,743	40,344	55,076	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	コロナ禍の影響により事業が行えなかった。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	令和3年度は新ホテルの営業開始により、各種奨励金の支払いを行った。
--------------------------------------	----------------------	--------------------------------------	-----------------------------------

年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和2年度はコロナ禍の影響により、先行事例の視察や研修会参加等を中止とした。また、にぎわいを生むための中心市街地活性化事業補助金の交付事業が中止となったため例年と比べて決算額が下がった。 令和元年に事業計画認定を行ったホテルが令和3年12月に開業した。減税制度による減税及び、各種奨励金の支出が令和3年度から令和7年度までの5年間見込まれている。
-----------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	再開発、建替えの支援を継続するとともに、市内各所の市街地のにぎわいをより支援していくため、令和4年度より事業名をまちなか活性化事業を変更し、事業実施していく。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	42	項目番号	2ほか
事務事業名	観光振興総務費(旧:観光立市推進事業)								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	観光立市推進基本計画
	中柱	観光立市の実現に向けた環境づくり					
	小柱	⑤日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進					
目標	観光産業を主要産業へ成長させることにより、地域経済の活性化や雇用の増加を図り、市民や市内企業の収入を増やすとともに、市外からの投資も誘引させる。						
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> 本市の自然や日本遺産などの歴史と、音楽・スポーツ・エンターテインメントを融合させ、相乗効果により発信力を高め、他地域と差別化を図る。 それにより、これまで横須賀に目を向けることが少なかった客層を誘客し、都市として「楽しそう」「面白そう」「わくわくするイメージ」を発信する。 						
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光施策の実効性の確保のため、観光振興推進委員会を開催する。 観光客調査や観光マーケティング調査を通じて、観光客数や観光動態の状況確認を行い、今後に向けた観光施策の基礎資料とする。 ルートミュージアムの取り組みを広く周知するため、汐留バス停留所に副名称を設定するとともに、三笠循環バスの車内アナウンスを変更する。 新たなお土産の開発・支援(おみやげコンテストの開催) 海洋都市を目指し、マリナレジャー関連事業を実施し、普及促進を行う 						

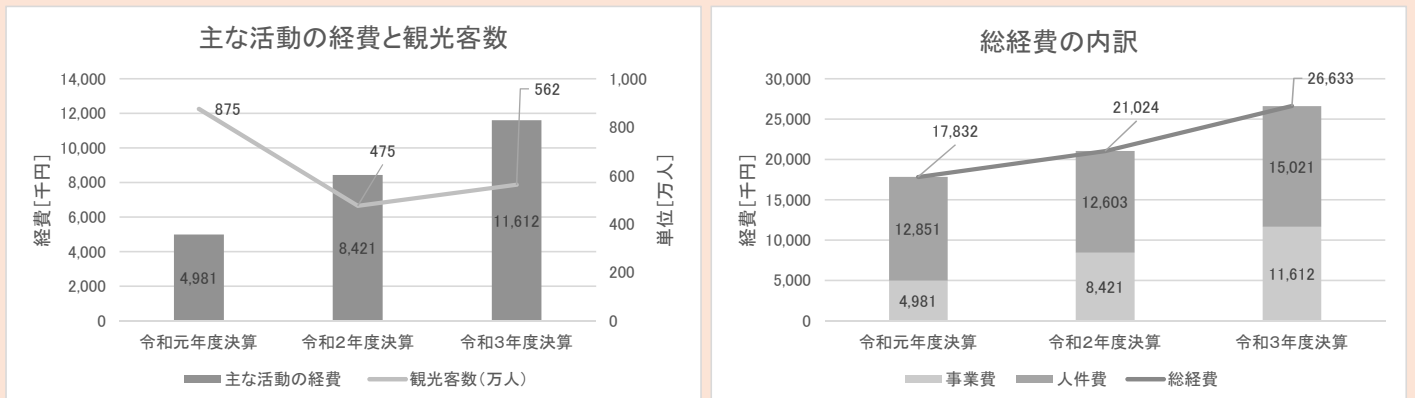
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 観光客数	観光客数(万人)	875	475	562	万人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 観光消費額	消費額(億円)	444	243	225	億円
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	4,981	8,421	11,612	14,839	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	4,981	8,421	11,612	14,839	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	12,851	12,603	15,021	14,972	千円
正規職員	1.5	1.5	1.8	1.8	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	17,832	21,024	26,633	29,811	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	令和2年度は、訪日外国人観光客のための情報発信を行うとともに三笠循環バスのルート変更及びオーバーホール(車両を分解して点検や修理をすること)を実施した。	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	令和3年度は、訪日外国人受入環境向上事業委託の終了などがあったが、観光マーケティング調査委託の実施や、お土産開発支援事業補助金の創設などを行った。
年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、三笠循環バスのルート変更及びオーバーホールを実施するための経費の増があった(3,387千円) 令和3年度は、訪日外国人受入環境向上事業委託の終了(▲4,356千円)、三笠循環バスのルート変更などの支出の減(▲3,386千円)などがあったが、観光マーケティング調査委託(5,273千円)やお土産開発支援事業補助金(5,150千円)、汐留バス停留所などの変更(501千円)に伴う経費の増があった 		
今後の事業の方向性	今後も、観光産業を主要産業へ成長させることにより地域経済の活性化を図り、そのために必要な事業を継続して実施するとともに、国や県などの補助金の活用や、民間事業者の人材、ノウハウ、資金などを活用し、コラボレーションをすることで、より魅力的で話題性のある事業を展開していく。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	43-45	項目番号	3(1)
事務事業名	集客プロモーション事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	観光立市推進基本計画
	中柱	観光立市の実現に向けた環境づくり					
	小柱	⑤日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進					
目標	近隣の市町と比べて、交通の便を含め住環境が良いにもかかわらず人口減少が進んでいる。原因の一つとして、実際の環境と市の持たれているイメージとの乖離が大きいことが要因であると、これまでの様々なアンケートから分析している。こうしたイメージを払拭し、横須賀に良いイメージを持ってもらうことで現状を打破していく。						
目標達成に必要なこと	待ちの姿勢では、民間企業が本市に興味を持ったり、投資や事業を行いたいと思ってくれることはないため、行政自身が常に新しい試みにチャレンジして起点を作り、その展開を発信し続けなければならない。様々な分野で最先端の技術を取り入れたチャレンジを続け、発信することで本市の「ワクワクできる街、楽しそうな街、チャレンジできる街、チャレンジしている街」としてのイメージを定着させていく。						
具体的な事業内容	(1)ルートミュージアムの推進による市内周遊の促進(周遊満足度の向上、ICTの活用、移動手段の充実など) (2)サブカルチャーを活用した観光推進(アニメ、ゲームなど) (3)スポーツを活用した集客(プロスポーツチーム連携、eスポーツ、アーバンスポーツなど)						

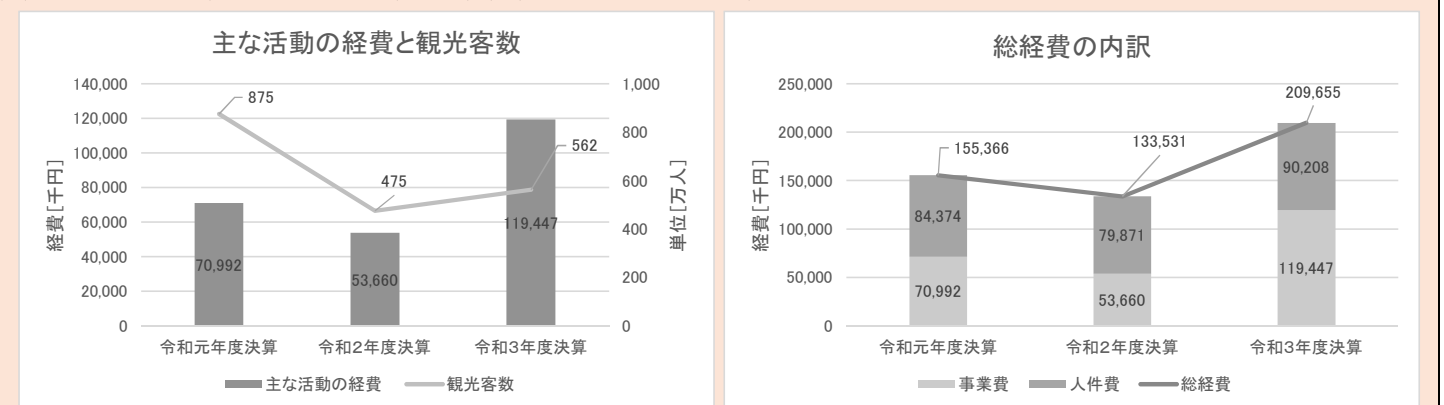
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 観光客数	観光客数	875	475	562	万人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 観光客消費額	消費額	444	243	225	億円
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	70,992	53,660	119,447	121,500	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	70,992	53,660	119,447	121,500	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	84,374	79,871	90,208	89,954	千円
正規職員	9.0	8.5	9.5	9.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	7,271	8,454	10,930	10,933	千円
総経費(a + b)	155,366	133,531	209,655	211,454	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツの振興を拡大し、大会やセミナーを開催し、高校部活動支援を実施した。 ・「ここはヨコスカ(英語版)」を廃止し、「Yokosuka Travel Guide」を公開した。 ・スポーツ庁「サイクルツーリズムモデル事業」を実施した。 	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなICT拠点となる「スカピア」を整備した。 ・令和3年度に開館したティボディエ邸を中心としてルートミュージアムの活用を行った。 ・浦賀地域を中心にMEGURU PROJECTを実施した。 ・よこすか海のアニメカーニバルを開催した。 ・THE Base APARTMENTSの運用を行った。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	<p>NTT局舎内に、本市の新たなICT拠点となる「スカピア」を整備した(30,000千円)。また、市施設を活用した「THE Base APARTMENTS」の運用を行った(20,000千円)。このほか、ティボディエ邸の開館に伴うプロモーションの実施や、浦賀地域を中心に歴史的遺産を周遊する「MEGURU PROJECT」の実施等により、令和3年の事業費が増額となった。</p> <p>観光客数については、令和2年度はコロナウイルスの影響で大幅に減少したが、令和3年度は影響が弱まり、イベント実施もできたことから若干回復している。</p>		
今後の事業の方向性	<p>新たな観光の核となる拠点の創出、地域資源を線でつなぎ面で展開するしくみづくり、地域資源と音楽・スポーツ・エンターテインメントとの融合、消費につながる魅力的なモノ・コトの創出、民間事業者等とのコラボレーションによる新たな魅力発信、地域の特性やインパクトのあるイベントを活用した効果的なプロモーションの実施を行うことで、ルートミュージアムを核とした観光立市を実現する。</p>		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	46	項目番号	3(2)
事務事業名	セールスプロモーション事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	観光立市推進基本計画
	中柱	観光立市の実現に向けた環境づくり					
	小柱	⑤日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進					
目標	近隣の市町と比べて、交通の便を含め環境が良いにもかかわらず人口減少が進んでいる。原因の一つとして、実際の環境と市の持たれているイメージとの乖離が大きいことが要因であると、これまでの様々なアンケートから分析している。こうしたイメージを払拭し、横須賀に良いイメージを持ってもらうことで現状を打破していく。						
目標達成に必要なこと	待ちの姿勢では、民間企業が本市に興味を持ったり、投資や事業を行いたいと思ってくれることはないため、行政自身が常に新しい試みにチャレンジして起点を作り、その展開を発信し続けなければならない。様々な分野で最先端の技術を取り入れたチャレンジを続け、発信することで本市の「ワクワクできる街、楽しそうな街、チャレンジできる街、チャレンジしている街」としてのイメージを定着させていく。						
具体的な事業内容	(1) ツアーセールス：団体客誘致（バスツアー等）のためのセールス活動 (2) メディアセールス：テレビ、新聞、雑誌、WEB等のメディアでの露出を図るためのセールス活動						

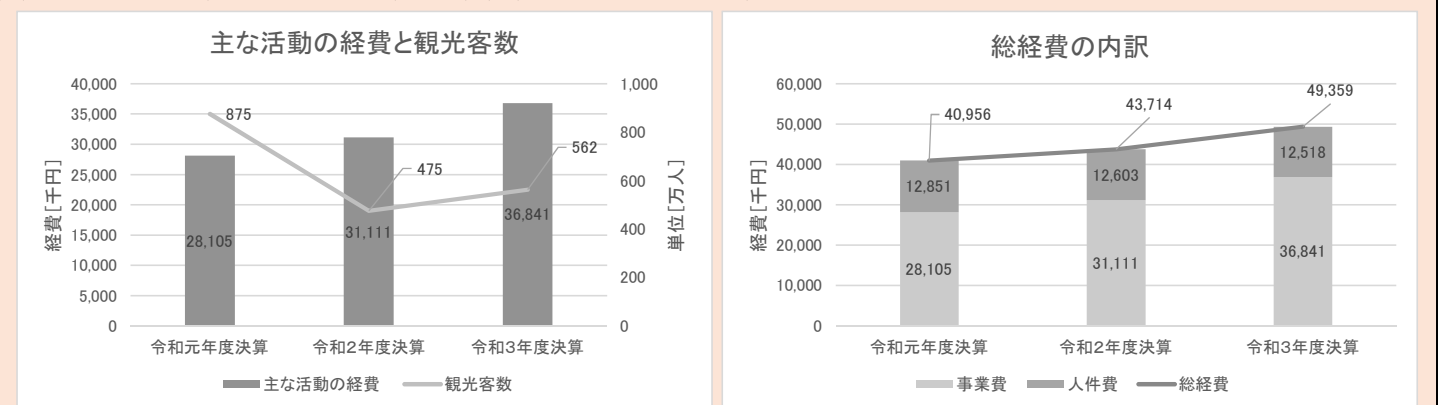
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 観光客数	観光客数	875	475	562	万人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 観光客消費額	消費額	444	243	225	億円
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	28,105	31,111	36,841	37,303	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	28,105	31,111	36,841	37,303	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	12,851	12,603	12,518	12,477	千円
正規職員	1.5	1.5	1.5	1.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0.0	0.0	0.0	0.0	千円
総経費(a + b)	40,956	43,714	49,359	49,780	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	・観光協会が派遣業の資格を取得したため、ツアーセールス、メディアセールスの業務委託をやめ、実行委員会への派遣という業務形態へと変更した。これにより、指揮命令系統が単純化されたこと、一部費用の圧縮された(△約2,000千円)効果があった。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	2年度はコロナウイルスの影響で多くのツアーが延期、中止となったため、11,240千円を翌年度に繰り越した。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	ツアーセールス事業については、令和2年度は、ツアーセールスのうち、ツーリズムバス補助(市内施設等を利用したツアーバスに一部補助をする事業)の補助額を、補正予算を組んで拡充し、実績は、99件(3760千円)だった。2年度はコロナウイルスの影響で多くのツアーが延期、中止となったため、11,240千円を翌年度に繰り越した。3年度実績は、188件(6,480千円)と、2年度と比較してほぼ倍増となっている。 メディアセールス事業については、コロナウイルスによる影響の回復を見込んで、観光プロモーション動画の制作等を行った。 観光客数については、令和2年度はコロナウイルスの影響で大幅に減少したが、令和3年度は影響が弱まり、ツアー催行もできたことから若干回復している。		
今後の事業の方向性	新たな観光の核となる拠点の創出、地域資源を線をつなぎ面で展開するしくみづくり、地域資源と音楽・スポーツ・エンターテインメントとの融合、消費につながる魅力的なモノ・コトの創出、民間事業者等とのコラボレーションによる新たな魅力発信、地域の特性やインパクトのあるイベントを活用した効果的なプロモーションの実施を行うことで、ルートミュージアムを核とした観光立市を実現する。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	50	項目番号	6(1)
事務事業名	観光立市推進基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	観光立市推進基本計画
	中柱	観光立市の実現に向けた環境づくり					
	小柱	⑤日本遺産など歴史遺産を巡る「ルートミュージアム」の構築、新たな周遊ルートの整備による集客の促進					
目標	観光立市推進基金への寄附を募り、観光の魅力発信や観光客の受け入れ環境の整備を進める。						
目標達成に必要なこと	観光に関する意識の向上を図るため「観光立市推進基金」を平成30年度に創設し、多くの皆様から寄附をいただく。						
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光立市推進基金への指定寄付分の積立金 ・観光立市推進基金の運用利子分の積立金 						

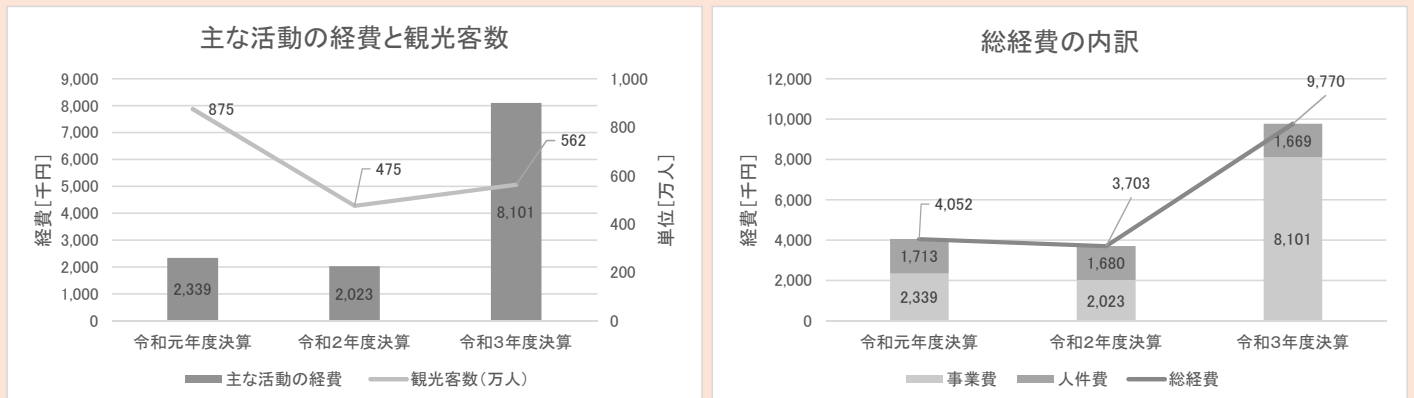
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 観光客数	観光客数(万人)	875	475	562	万人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 観光消費額	消費額(億円)	444	243	225	億円
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	2,339	2,023	8,101	8,523	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	2,339	2,023	8,101	8,523	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	1,713	1,680	1,669	1,664	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	4,052	3,703	9,770	10,187	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	特になし	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	特になし
年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、寄附金額の減少に伴い、積立金も減少した。 ・令和3年度は、寄附金額の大幅な増加により、積立金も大幅に増加した。 		
今後の事業の方向性	引き続き、観光立市推進基金への寄附金を全国から募り、観光地としての知名度向上を図る。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	51	項目番号	7(1)
事務事業名	大規模スポーツ大会等誘致事業 (ウインドサーフィンワールドカップの誘致等)								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	2025	(サンセット)	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務								
根拠法令									
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興					分野別計画		
	中柱	スポーツを核としたまちづくり・スポーツによる集客促進							
	小柱	①マリンスポーツの振興							
目標	ウインドサーフィンワールドカップの開催を契機に、まちに賑わいを創出し、「ウインドサーフィンのまち」としての地域ブランド力の向上を図り、地域の活性化を目指す。								
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ワールドカップを継続的に開催するために、民間企業など外部団体からの支援、協力をしていただけるような大会づくりを行う 目指すまちづくり、賑わいの創出に地域住民が率先して参加できるような環境づくりを行う 								
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 津久井浜海岸でのウインドサーフィンワールドカップの継続開催 ナショナルチーム強化練習会の誘致 大学のウインドサーフィン部を対象に津久井浜海岸での合宿の提案・誘致 ジュニアトップアスリート発掘・育成のためのウインドサーフィアカデミーの実施 スピード競技以外の競技クラスの全国大会誘致 								

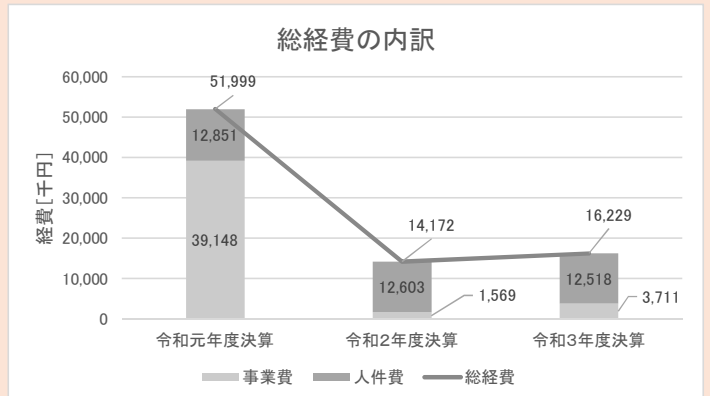
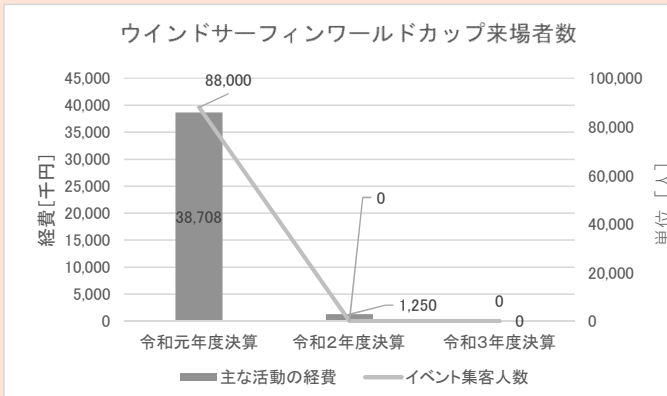
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① ウインドサーフィンワールドカップの実施	イベント集客人数	88,000	0	0	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 合宿、全国大会の誘致	誘致件数	2	1	3	件
③ ウインドサーフィアカデミーの実施	受講者数			12	人

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	39,148	1,569	3,711	4,019	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	38,708	1,250	0	0	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	440	319	3,711	4,019	千円
b 人件費	12,851	12,603	12,518	12,477	千円
正規職員	1.5	1.5	1.5	1.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	51,999	14,172	16,229	16,496	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	新型コロナウイルス感染症拡大により、令和3年度大会も中止となり、前年度からの大会準備がなくなったが、次回大会以降の実施に向けて、大会ブランディングを実施	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	新型コロナウイルス感染症により、2年連続で大会は中止となったが、全国規模の各種目のウインドサーフィン大会を集結させたウインドサーフィンフェスティバルを開催し機運醸成に努めた。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和元年度はワールドカップが地域に定着しつつあり、過去最多の88,000人が来場した。令和2年度、3年度はともに新型コロナウイルス感染症により、ワールドカップが中止となったため、開催経費が減ったが、各年度、大会ブランディングの実施、ウインドサーフィンフェスティバルの開催を行い、継続開催に向けた準備や機運醸成に努めた。		
今後の事業の方向性	W杯を継続的に開催するとともに、ナショナルチーム強化合宿や大学等の合宿誘致、ジュニアトップアスリートの発掘・育成、全国規模の大会誘致などを行うことで、まちにさらなる賑わいを創出し、「ウインドサーフィンのまち」としてのイメージの定着、地域ブランド力の向上を図り、交流人口の増加、民間企業による投資促進などを旨とする。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	52	項目番号	7(1)
事務事業名	大規模スポーツ大会等誘致事業 (BMXフリースタイルジャパンカップの誘致)								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興				分野別計画	観光立市推進基本計画
	中柱	スポーツを核としたまちづくり・スポーツによる集客促進					横須賀市スポーツ推進計画
	小柱	③アーバンスポーツ・eスポーツを活用したまちづくり					
目標	海洋・アウトドアスポーツに適した本市の環境を活かし、大規模スポーツ大会等の誘致を行うとともに、大会をきっかけとした地域活性化を図る。また、アーバンスポーツを文化として根付かせ、アーバンスポーツの聖地として若者が集うまちとなり、本市の新たな魅力を創出・発信していく。						
目標達成に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・BMX連盟や関連企業、地元住民や子供たちなどへの働きかけを行う ・BMXフリースタイルジャパンカップを継続開催させ、アーバンスポーツツーリズムへの展開やアーバンスポーツビジネスの支援を行う 						
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・BMXフリースタイルジャパンカップの誘致及び開催 ・トップアスリートが練習できる施設の整備に向けた調整と財源を含めた検討 						

(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① BMXフリースタイルジャパンカップの開催	来場者数(延べ人数)	0	0	0	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② BMXフリースタイルジャパンカップの開催	配信再生回数	0	0	0	回
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	0	15	5	30,097	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	0	0	0	30,000	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	15	5	97	千円
b 人件費	0	4,201	4,173	4,159	千円
正規職員	0.0	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	0	4,216	4,178	34,256	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	令和2年度に初開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	開催時期の調整など準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度も延期となった。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	新型コロナウイルス感染症の影響によりジャパンカップは開催することができなかったが、開催に向けた外部との調整や民間事業者への協賛セールスなどの活動を行った。総経費については、打ち合わせ等に要した普通旅費以外の執行なし。		
今後の事業の方向性	引き続きジャパンカップの開催に向けた調整・準備を進め、アーバンスポーツを通じた地域活性化を図り、交流人口の増加、本市の魅力発信に取り組むとともに「アーバンスポーツの聖地」を目指す。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	52	項目番号	7(2)
事務事業名	国際会議等誘致事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	観光立市推進基本計画
	中柱	観光立市の実現に向けた環境づくり					
	小柱	④にぎわいを消費につなげる環境づくり					
目標	学会・スポーツ大会・スポーツ合宿を誘致し、出席者の宿泊、飲食、観光等による経済効果の増加や、市のブランドイメージの向上と発信を図る。						
目標達成に必要なこと	学会の開催やスポーツ合宿について働きかけを行うとともに、運営面等を積極的に支援する。						
具体的な事業内容	本市で学会・スポーツ大会の開催やスポーツ合宿を行う市外の団体に対し、働きかけを行うとともに、運営を支援することで、誘致を促進し、新たなイメージの創出及び地域経済の活性化を図る。						

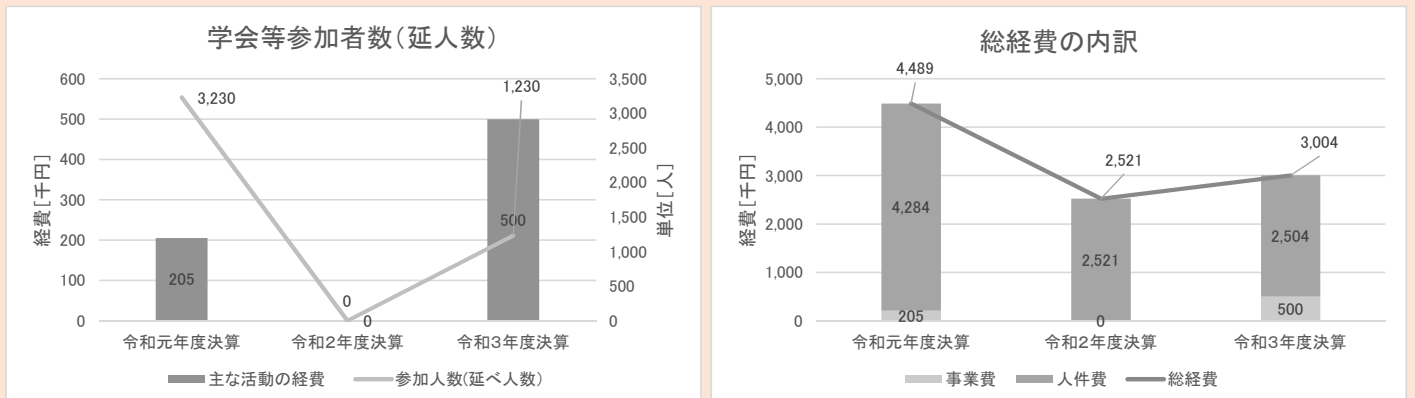
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 学会・スポーツ合宿等の開催支援	参加人数(延べ人数)	3,230	0	1,230	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 学会・スポーツ合宿等の開催支援	支援件数	4	3	18	件数
③ 学会・スポーツ合宿等の開催支援	補助金交付額	200	0	500	千円

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	205	0	500	2,069	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	205	0	500	2,050	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	19	千円
b 人件費	4,284	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.5	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	4,489	2,521	3,004	4,564	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	スポーツ大会・スポーツ合宿についても、宿泊を伴い国際会議、学会誘致と同様、事業効果が高いことから、新たに対象とした。	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	
年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和元年度は、開催支援4件のうち1件の補助金交付があったが、令和2年度は、開催支援3件のうち、コロナの影響により、1件はオンライン開催に変更、2件は開催中止となり、補助金の申請はなかった。 令和3年度は、スポーツ合宿が新たに対象として加わったため、開催支援18件、補助金交付4件と急増したものの、学会開催についてはコロナの影響により現地会場とオンライン形式併用の開催となったため、参加人数に大きな延びはなかった。		
今後の事業の方向性	より効果的な経済効果を生むため、団体からの事前相談などの業務を令和4年度に観光協会へ引き継いだ。 令和5年度からは開催にかかる団体への補助金についても観光協会が直接かわることで、事業の効果をさらに高めていく。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	11	項	8	目	8	説明資料	54	項目番号	2(1)
事務事業名	美術館展覧会事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興				分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
	中柱	歴史遺産の活用促進					
	小柱	①浦賀奉行所開設300周年を契機とした郷土愛の醸成とにぎわいづくり					
目標	次世代を担う子どもたちを含めた多くの人々が、質の高い美術に対する深い理解と親しみを心得、心の豊かさを充足する機会を提供する。また、郷土ゆかりの作品を展示し、市民や作家の交流を通じて、新たな文化を発信する。						
目標達成に必要なこと	すべての人に開かれた美術館であるために、年間の企画展・所蔵品展を通じて幅広いジャンルの展覧会を開催する。展覧会の効果を最大限発揮するために、教育普及事業や、他部課や民間事業者と連携をはかる。						
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人に親しみやすく、集客を見込める展覧会の開催。またそれに関連する野外イベントの実施。 親子を対象にした、質が高くかつ身近に感じられ、美術館に親しめる内容の展覧会の開催。 横須賀、三浦半島という地域に関連のある展覧会の開催。 横須賀美術館のコレクションを核とし、調査研究をふまえて新たな着眼点で構成する所蔵品展、谷内六郎展の開催および情報発信。 						

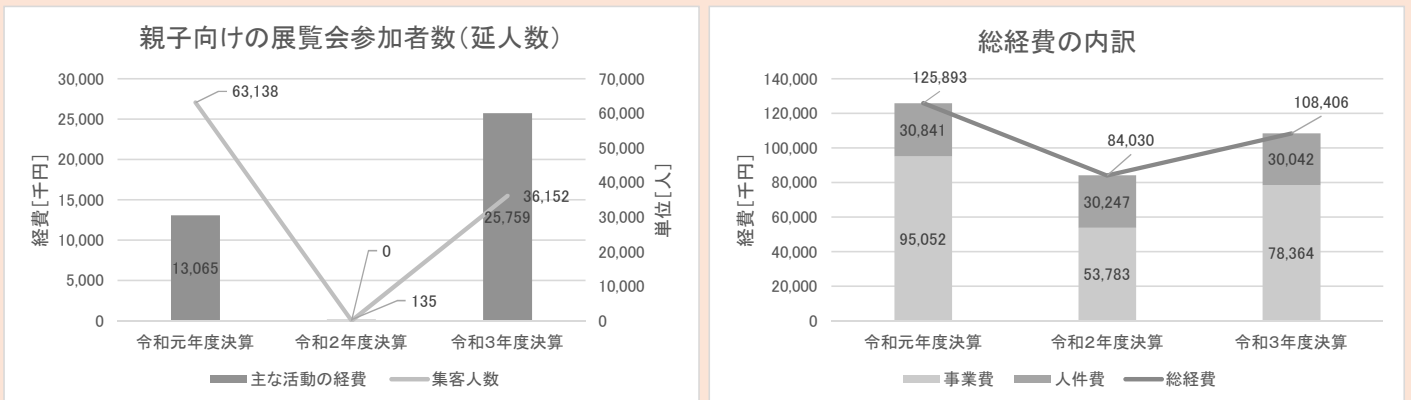
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 親子向けの展覧会開催	集客人数	63,138	-	36,152	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 展覧会に関連した野外イベントの開催	開催回数	1	1	3	回
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	95,052	53,783	78,364	83,307	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	13,065	135	25,759	28,114	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	81,987	53,648	52,605	55,193	千円
b 人件費	30,841	30,247	30,042	29,945	千円
正規職員	3.6	3.6	3.6	3.6	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	125,893	84,030	108,406	113,252	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言による臨時休館のため、開催を予定していた「ミロコマチコ展」は中止となった。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	R2年度に中止になった「ミロコマチコ展」のR3年度への順延と、「酒井駒子展」の2本を開催した。ただし、緊急事態宣言のため、酒井展は会期半分が中止となった。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	横須賀美術館は、近隣の美術館にはみられない独自の「親子向けの質の高い展覧会」を継続して開催することによって、館の認知度も高まり、高い観覧者数を獲得している。企画展の内容は毎年変わるために、個々の展覧会にかかる経費や集客人数には変動があるが、概して目標人数は達成している。令和3年度は企画展は開催できたが、新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言による美術館の休館期間もあって、集客人数の達成に今一步届かなかった。		
今後の事業の方向性	美術館展覧会事業は、社会教育に寄与すると同時に、本市の重要な観光事業としても位置付けられるので、事業は継続すべきと考える。同時により効果が高いサービス内容を検討する。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	11	項	8	目	8	説明資料	56	項目番号	2(4)
事務事業名	美術館運営事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興				分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
	中柱	音楽・ダンスや芸術文化などエンターテインメントが持つ力を生かしたにぎわいづくり					
	小柱	①アートやサブカルチャーを活用した新たなにぎわいづくり					
目標	<ul style="list-style-type: none"> 年間観覧者数110,000人 運営評価委員会による実施目標のうち「美術を通じた交流を促進する」の二次評価A(目標を達成している)以上とする。 新聞、雑誌等の無料での情報掲載数220件 						
目標達成に必要なこと	図書室の運営のほか、美術館運営評価制度の運用、広報宣伝事業、全館共通印刷物制作、地域連携など館全体に関わる事業を実施する。						
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の運営に係る会計年度任用職員の雇用、美術図書の購入や収集調査 展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) 美術館ニュースの発行 美術館の送付やツイッター等SNSの運用、交通広告やメディアへの広告や取材対応 団体観覧への対応、地域との連携事業 						

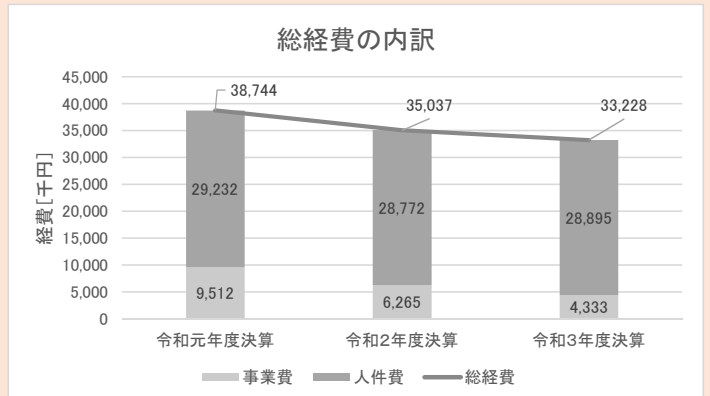
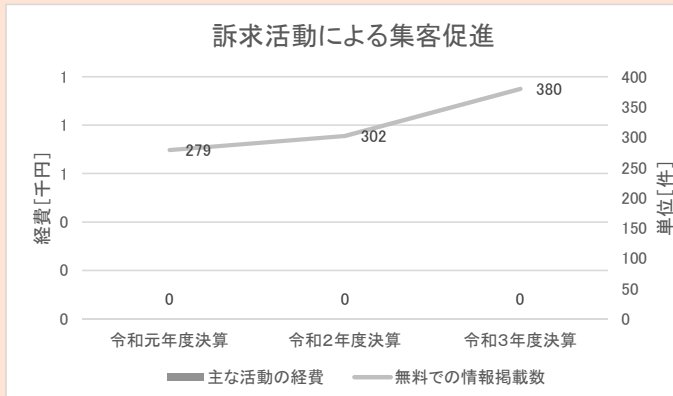
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 訴求活動による集客促進	無料での情報掲載数	279	302	380	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② イベント開催等	開催回数	2	1	2	回
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	9,512	6,265	4,333	5,182	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	0	0	0	0	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	9,512	6,265	4,333	5,182	千円
b 人件費	29,232	28,772	28,895	29,123	千円
正規職員	2.3	2.3	2.3	2.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	9,528	9,447	9,702	9,992	千円
総経費(a + b)	38,744	35,037	33,228	34,305	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	・SNS(Instagram、YouTube)の新たな運用	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	・パブリシティ等のための展覧会情報リリース先のさらなる拡大 ・SNSでの広告配信の積極活用 ・SNS(ツイッター、Instagram、フェイスブック、YouTube)の運用
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	活動内容に大きな変更点はなく、総経費の推移は新型コロナウイルス感染症への対策により、イベントや印刷物の制作が減少したことによる。		
今後の事業の方向性	SNS等の訴求活動を通じて情報発信することで、横須賀美術館の認知度は高まっていると感じている。感染症対策に留意しつつ、美術館のPRを一層強くなるため訴求活動や外部連携を強化していきたい。また、時勢にあわせウェブで楽しめるコンテンツも充実させていくほか、デジタルサイネージなどのデジタル媒体も積極的に活用していきたい。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(5)
--------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	市民レクリエーション行事等 (よこすかスポーツフェスタ2021(F・マリノス選手等の派遣))	所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課
-------	---------------------------------------------------	-------	----------------------

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条・第23条・第24条						
実施計画	大柱	子育て・教育環境の再興・整備・充実				分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
	中柱	横須賀の特性を生かした教育機会の提供					
	小柱	③学校などでのプロスポーツと連携した取り組み・スポーツの強化					
目標	子どもたちのスポーツに対する関心を高める。						
目標達成に必要なこと	子どもたちがプロのスポーツ選手と触れ合う機会を創出する。						
具体的な事業内容	本市をホームタウンとする横浜F・マリノスのプロ現役選手から、よこすかスポーツフェスタ内のサッカー教室で直接指導を受け、子どもたちに体を動かすことやスポーツの楽しさを伝える。また、トップレベルの選手を間近で感じることで、夢や感動を与える。						

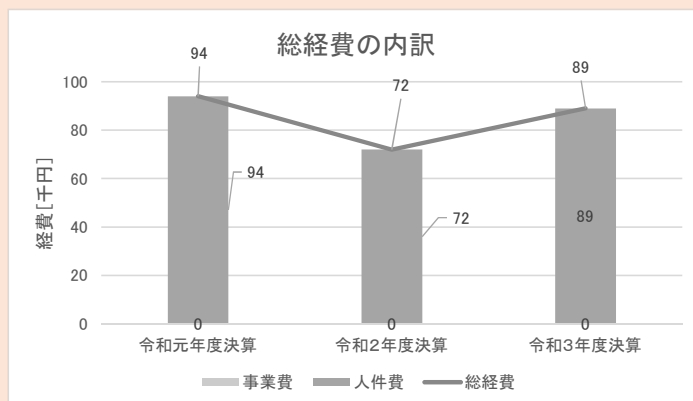
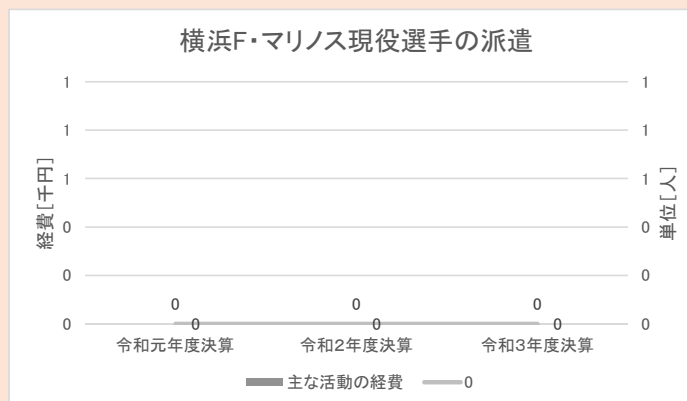
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 横浜F・マリノス現役選手の派遣	0	0	0	0	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
②		0	0	0	
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	0	0	0	0	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	0	0	0	0	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	94	72	89	89	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	94	72	89	89	千円
総経費(a + b)	94	72	89	89	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	特になし。	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	特になし。
----------------------------------	-------	----------------------------------	-------

年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和元年度は台風のため、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため、スポーツフェスタ自体を中止にせざるを得ない状況となった。
-------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	近年台風やコロナ禍のためスポーツフェスタ自体の開催ができていないが、プロのスポーツ選手と触れ合う機会を創出するためにも、事業を維持継続していく。
-----------	--------------------------------------------------------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(スポーツ能力測定会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
実施計画	大柱	子育て・教育環境の再興・整備・充実				分野別計画	
	中柱	横須賀の特性を生かした教育機会の提供					
	小柱	③学校などでのプロスポーツと連携した取り組み・スポーツの強化					
目標	スポーツ能力測定会を、運動が苦手だった子どもが自信を持つきっかけに繋がったり、自分に向いているスポーツを知る手段とする。						
目標達成に必要なこと	対象となる子どもたちへの周知						
具体的な事業内容	「スポーツ能力測定会」とは、世界最新の測定機器を用いて子どもたちの運動能力を測定し、データ分析の結果から発見される、最も適したスポーツ種目との紐づけを行い個々にフィードバックしながら、さらにその能力がステップアップする方法などのアドバイスを行う取り組みである。一般財団法人シティサポートよこすかが主催し、一般社団法人スポーツ能力発見協会への委託により「スポーツ能力測定会」を実施する。市は本事業に共催し、主にイベントの周知及び当日の受付を行う。						

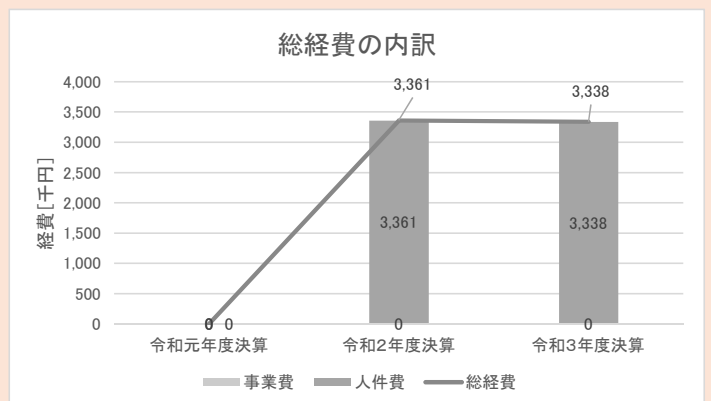
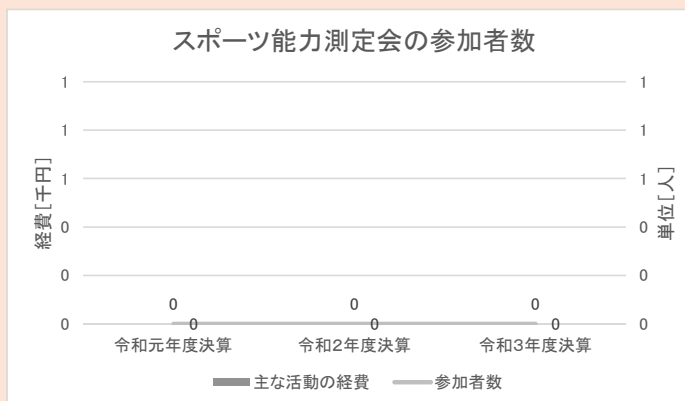
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① スポーツ能力測定会の実施	参加者数	-	-	-	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
②		0	0	0	
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	0	0	0	209	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	0	0	0	209	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	0	3,361	3,338	3,327	千円
正規職員	0.0	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	0	3,361	3,338	3,536	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	令和2年度より開始した事業のため該当なし。	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	特になし。
年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和2年度より事業開始予定であったが、令和2年度、3年度とも新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。		
今後の事業の方向性	令和2年度、3年度はコロナ禍の影響で中止となったが、感染状況が収束すれば感染対策を徹底して実施する。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(6)
事務事業名	少年期スポーツ障害予防対策事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第14条						
実施計画	大柱	子育て・教育環境の再興 整備・充実				分野別計画	
	中柱	横須賀の特性を生かした教育機会の提供					
	小柱	③学校などでのプロスポーツと連携した取り組み・スポーツの強化					
目標	少年期のスポーツ障害を予防するためには、「怪我をしない体づくり」、「怪我をさせない環境づくり」が重要であり、これらを少年スポーツの現場に浸透させる。						
目標達成に必要なこと	本市の少年スポーツの現場における正しい知識の普及。						
具体的な事業内容	子どもたちが将来にわたってスポーツを楽しめる環境づくりの一環として、少年期におけるスポーツ障害予防対策を実施する。スポーツ整形の医師や本市で活動するプロスポーツチームなどの協力を得て、野球とサッカーの2競技を対象に、検診や予防トレーニングの講習などを実施する。 実施内容 1 医師による超音波検査 2 予防トレーニング講習 3 指導者向けの講話						

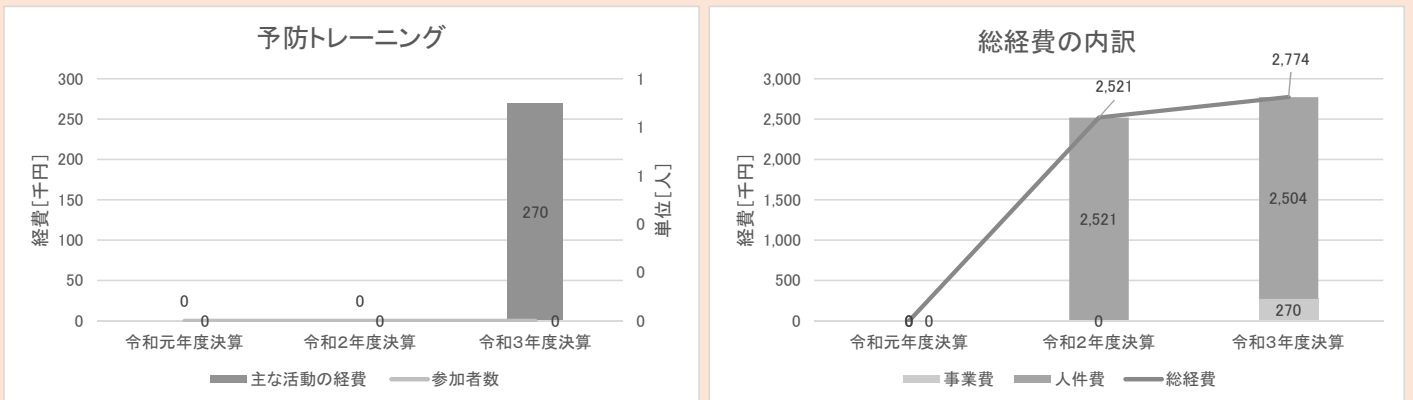
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 予防トレーニング	参加者数	0	0	0	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
②		0	0	0	
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	0	0	270	761	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	0	0	270	761	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	0	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.0	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	0	2,521	2,774	3,256	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	令和2年度より開始した事業のため該当なし。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	令和2年度より事業開始。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和2年度より事業開始予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、スポーツ障害予防講話およびトレーニング指導を市内少年サッカーチームと少年野球チームに対し動画配信という形で実施した。		
今後の事業の方向性	少年期にスポーツ障害に対する正しい知識を身につけてもらい、「怪我をしない体づくり」や、指導者も正しい知識を身につけることで、「怪我をさせない環境づくり」を横須賀市の少年スポーツの現場に浸透させるため継続して事業を行っていく。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	65	項目番号	4(5)
事務事業名	社会体育団体等補助金(スポーツ選手育成強化事業補助金)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第34条						
実施計画	大柱	子育て・教育環境の再興・整備・充実				分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
	中柱	横須賀の特性を生かした教育機会の提供					
	小柱	③学校などでのプロスポーツと連携した取り組み・スポーツの強化					
目標	各種目選手の競技力向上。						
目標達成に必要なこと	選手強化事業に取り組むための支援をすること。						
具体的な事業内容	・スポーツ協会では、選手等のための食生活やケガ予防等についての講習会・講演会の開催、有望選手のメディカルチェック、傘下種目団体へ事業交付金・活動奨励費の交付のほか、選抜選手強化事業、特定競技強化事業を実施している。						

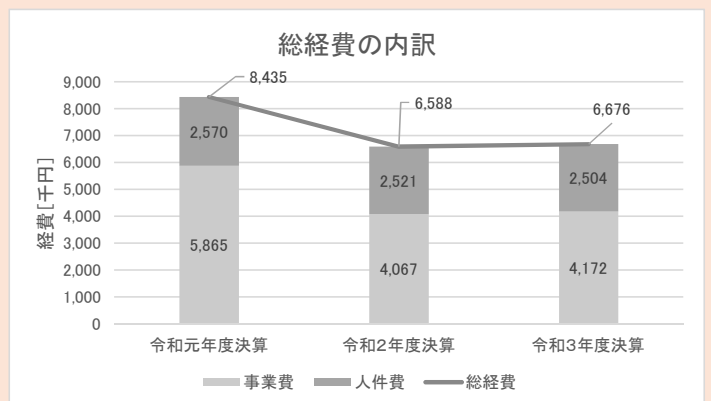
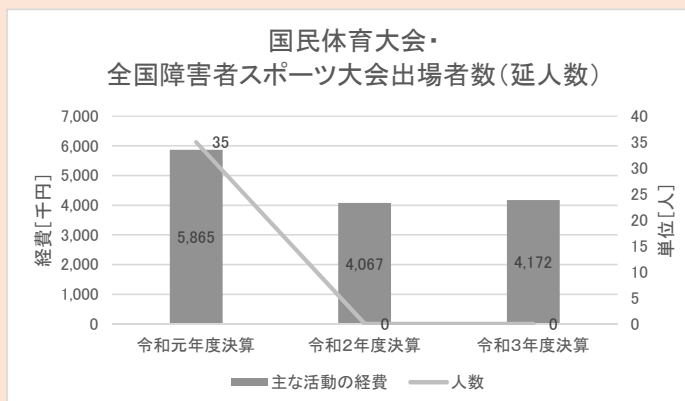
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会出場者	人数	35	0	0	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
②	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	5,865	4,067	4,172	5,950	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	5,865	4,067	4,172	5,950	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	8,435	6,588	6,676	8,445	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	特になし	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	特になし
年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国体・障スポが中止となりました。		
今後の事業の方向性	次期オリンピック・パラリンピックを見据え、引き続き維持継続していく。		

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	5(1)
事務事業名	ホームタウンチーム活動推進事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	歴史や文化を生かしたにぎわいの再興				分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
	中柱	スポーツを核としたまちづくり・スポーツによる集客促進					
	小柱	④追浜地域のスポーツを核としたまちづくり					
目標	本市を活動拠点とするプロスポーツのホームタウンと様々な連携を行い、トップアスリートと子どもを中心とする市民とのふれあいの機会を創出することで、スポーツに対する関心を高め、本市のスポーツ振興を図る。						
目標達成に必要なこと	子どもたちがプロスポーツ選手と触れ合う機会を創出						
具体的な事業内容	横浜DeNAベイスターズファームチーム:選手が小学校へ訪問、コーチ等が幼稚園に訪問 横浜F・マリノス:コーチが小学校・幼稚園・保育園・こども園に訪問						

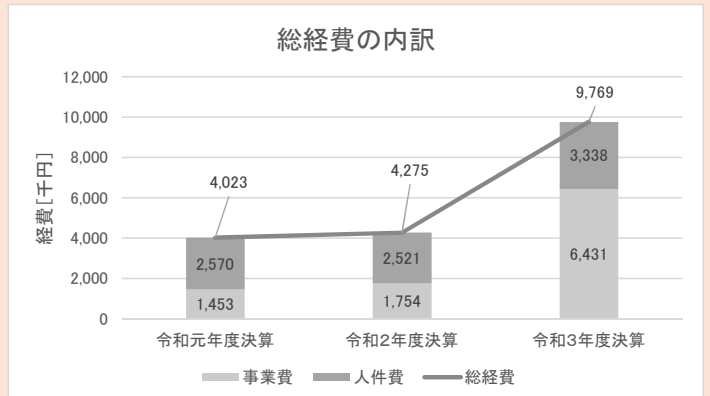
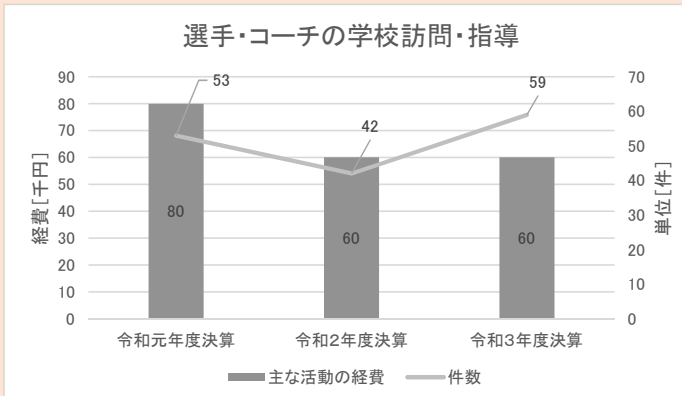
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 選手・コーチの学校訪問・指導	件数	53	42	59	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
② 横須賀市こども招待デーのチラシ印刷・配布(ベイスターズ)	配布数	30,000	0	29,000	枚
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	1,453	1,754	6,431	16,513	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	80	60	60	60	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	1,373	1,694	6,371	16,453	千円
b 人件費	2,570	2,521	3,338	3,327	千円
正規職員	0.3	0.3	0.4	0.4	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	4,023	4,275	9,769	19,840	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	特になし	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	企業版ふるさと納税を財源とするスポーツ教室事業を開始した(マリノス)
----------------------------------	------	----------------------------------	------------------------------------

年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和元年度は、ベイスターズファームチーム施設の整備に伴い電柱ラッピング装飾等、様々な施策を実施したため、総経費が増となった。令和3年度は企業版ふるさと納税を財源としたサッカー教室を実施し、総経費が増となった。
-------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の事業の方向性	2019年に追浜にベイスターズのファームチーム施設「DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA」が整備され、2023年1月には久里浜にF・マリノスの練習場が整備される予定で、追浜・久里浜地域を中心としたスポーツによるまちづくりを一層推進していく。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	70,71	項目番号	3(1)-(4)
事務事業名	体育会館営繕工事費(競技場特定天井改修事業)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和5年度
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	建築基準法施行令第39条						
実施計画	大柱	その他の重点事業				分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
	中柱	体育会館競技場の安全確保					
	小柱						
目標	市民に安全で安心して施設を利用できるよう、体育会館競技場の特定天井改修を行う。						
目標達成に必要なこと	継続事業として予算計上し、長期的なスケジュール管理のもと工事計画を策定する。						
具体的な事業内容	総合体育会館第1競技場天井改修、北体育会館競技場天井改修、西体育会館競技場天井改修、南体育会館競技場天井改修						

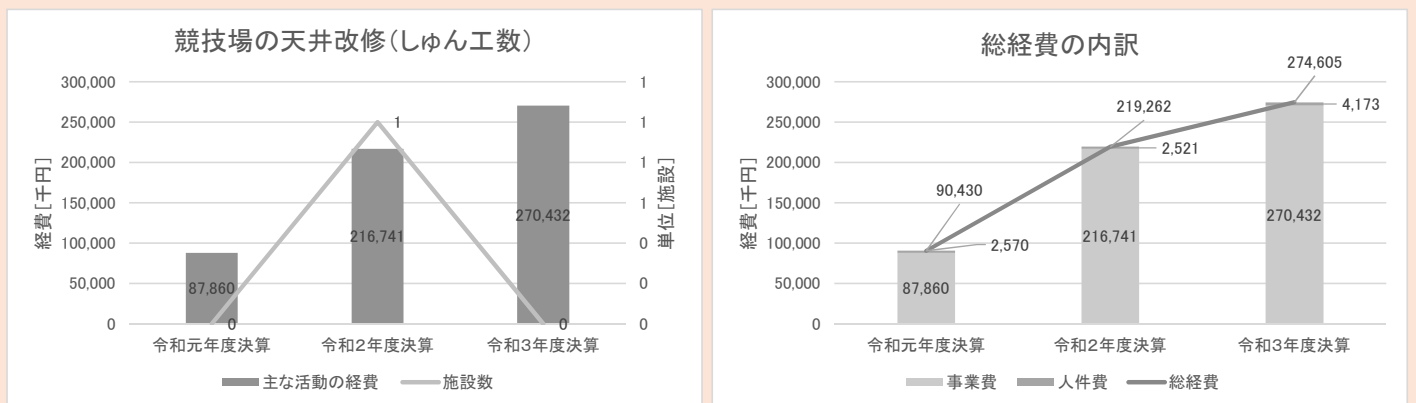
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
① 競技場の天井改修(しゅん工数)	施設数	0	1	0	施設
その他の活動実績	活動(指標)名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
②		0	0	0	
③		0	0	0	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	87,860	216,741	270,432	552,822	千円
主な活動の経費(※上記(2)①)	87,860	216,741	270,432	552,822	千円
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円
b 人件費	2,570	2,521	4,173	4,159	千円
正規職員	0.3	0.3	0.5	0.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	90,430	219,262	274,605	556,981	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R1年度⇒R2年度	-	主な活動に係る変更点(※上記(2)①) R2年度⇒R3年度	-
年度ごとの推移の分析(【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	平成30年度に総合体育会館第1競技場天井改修その他工事をしゅん工した。 令和2年度に北体育会館競技場天井改修その他工事をしゅん工した。		
今後の事業の方向性	令和4年度中に西体育会館競技場天井改修その他工事をしゅん工する。 令和5年度中に南体育会館競技場天井改修その他工事をしゅん工する。		